

南の風

—第9号—

新しい年が始まりました。たくさんの正月飾りで彩られたこども医療センターの中は、新年特有の華やかな雰囲気であふれています。それと同時に、身の引き締まる思いもいたします。今年も新型コロナウイルス感染症と付き合いながらの学校生活になるかと思いますが、出来るだけ多くの経験の積み重ねができるような教育活動を行っていきたいと思います。本年もどうぞよろしく願いいたします。

今月は、「復学支援について」と「小学部の学校生活・授業の様子」をお伝えします。

特別支援教育を考える

切れ目のない支援を目指して ～地域とのつながり～

子どもたちにとっての入院・入所は、それまでの日常生活とは異なった環境での生活を送ることです。その中で、日々の治療や訓練等に励みながら、本来の居場所である家庭・学校・地域へ、再び戻っていく子どもたちの支援をすることが、支援連携グループの重要な役割の一つです。

退院・退所の見込みが出てくると、子どもたちは地元の学校へ戻る喜びや期待と同時に、不安も抱くようになります。そばで子どもたちを見守ってきた保護者の方も同様です。その多くは、学習面の遅れや友人関係、体力の問題、行事や部活動等への参加についてです。思春期に入る中学生では、入院・入所前の自分との違いや、より複雑になる友人関係に不安を抱く場合があります。「特別扱いをされるのは嫌だけど、みんなと全く同じでは心配」と、心の内を表現した中学生もいます。

退院・退所の見込みが立った段階で、支援連携グループの教育相談コーディネーターが中心となり、本人・保護者と復学に向けた面談を実施します。具体的に、登校の進め方、不調時の対応・連絡先、学校生活での留意事項、クラスメイトへの説明の仕方等についての考えや希望を聞かせていただきます。

復学の不安は本人・保護者はもちろん、受け入れ先の学校も同じように感じている場合があります。戻ってくる児童・生徒が安全で楽しい学校生活を送るために、どのようなことに気を付ければよいのかを考えています。

本人・保護者が希望したり、主治医等の医療関係者が必要だと考えたりした場合には、復学支援会議を開催します。復学支援会議は本人・保護者を中心に、地元の学校の先生方、主治医や看護師等の医療関係者、本校担任、その他の関係者等が、退院・退所後の生活での注意事項、配慮事項等を共有し、必要な支援策を一緒に考えることで、皆が感じている不安を解消する場となっています。各学部部門の教育相談コーディネーターが、日程の調整や必要な連絡をし、当日の進行を務めます。その際、事前面談で聞き取った内容を盛り込み、本人・保護者の思いを伝えていきます。

復学後は、時期を見て地元の学校と保護者へお電話を入れ、その後の様子を伺うアフターフォローも行っています。2学期末にかけての電話では、遅れを取り戻すためにしていた勉強が習慣となって定着し、目標をもって勉強に取り組んでいる話や、文化祭でナレーションを頑張った話、部活動の遠征にも参加できた話等を聞くことができました。ある中学生は、「病気になって入院したことは嫌なことではあったけど、自分にプラスになることでもあった。」と話してくれました。また、別の保護者は、「退院するときは不安だらけだったけれど、復学支援会議を通して、病気のことを理解してもらえた。今は困っていることはない。これから退院していく人たちにも大丈夫だよと伝えたい。」と話してくださいました。

本校に在籍している児童・生徒はもちろん、地域に戻って頑張っている子どもたち、その保護者、地域の学校とこれからもつながり、必要に応じて、切れ目のない支援を実現していけるよう、これからも努めていきます。また、地域へのセンター的機能を果たす取組として、病気で入院・入所する子どもたちの理解・啓発を進めていくことも、地域に帰っていく子どもたちの支援につながることで、力を入れていきたいと考えています。

復学に関するだけでなく、気になることや聞きたいことがあれば、遠慮なく各学部部門の教育相談コーディネーターにご連絡ください。

担当：中学部 教育相談コーディネーター 湯永 理加

学校生活 ～書き初め展～

1月10日(火)から新学期が始まりました。元気な声が教室の外まで聞こえてきます。ふと静かになったので教室をのぞいてみると、真剣な顔つきで書き初めをしていました。子ども達の作品は1月16日(月)から1月27日(金)にかけてこども医療センター1階の渡り廊下にて、小学部の書き初め展に展示されました。小学部1組と2組の1年生から6年生までの作品と、重心部門の作品がならびました。

小学部1組の1・2年生は国語の教科書「くじらぐも」「スイミー」の1部分を硬筆で書きました。冬休みも頑張って練習し、丁寧に書くことができました。2組の2年生と3年生以上の学年は毛筆で書きました。いつもより大きな紙で書くのは大変でしたが、お手本をよく見て一筆一筆気持ちを込めて書くことができました。どの作品ものびのびとしていて清々しい気持ちになりました。

また、重心部門では、今年の干支「卯」を、一人ひとりが思いを込めて書いています。手がたや足がたで出来たウサギも作品に彩りを添えています。ウサギのように、「ホップ、ステップ、ジャンプ」して2023年も沢山の経験をしていきたいです。

ぜひ、足を止めてごゆっくりご覧ください♪



一筆入魂



2月 行事予定

17日(金)	重心部門 個人面談期間 (～24日 短縮水曜日課)	24日(金)	中学部 職業講話
21日(火)	中学部 3学期期末試験 (～22日 午前日課)	27日(月)	小、中学部 短縮4校時 (成績処理)